

衛生面に関する8つの強化ポイント

<強化ポイント1> 体温検知システム「検温くん」を園舎入口付近に設置

感染予防の為、体温検知システム「検温くん」を設置しました。

- ・クラスに入る前に「検温くん」で発熱具合を確認します。（誤差±0.3度）
- ・発熱の可能性がある場合は、検温エリアに移動します。
- ・検温エリアで「体温」と「酸素飽和度」を測ります。
- ・酸素飽和度を確認すれば、肺機能低下を早期検知できる可能性があります。
- ・園児以外の来園者も発熱具合を確認し、感染拡大を未然に防ぎます。



＜強化ポイント2＞オゾンガス発生器を2台用意して空間除菌を実施

オゾンガス発生器を使用し、強力な除菌作用で園舎全体を消毒します。

- ・ 人に影響がない夜間に使用します。翌朝には、酸素に変わり、無害です。
- ・ 奈良県立医科大学は、新型コロナウイルスにオゾンが効くと発表しました。



<強化ポイント3> 次亜塩素酸水「エコノアクア」を各クラスへ配置

次亜塩素酸水「エコノアクア」を使用し、消毒を徹底します。

- ・アルコールが効きにくいウイルス（ノロウイルス等）にも効果があります。
- ・医療・介護施設・食品工場における消毒に長年使用されてきました。
- ・刺激臭や皮膚刺激は無く、安全です。
- ・北海道大学は、新型コロナウイルスに次亜塩素酸水が効くと発表しました。



<強化ポイント4>ウォーターサーバーを4台設置

水分補給時の感染を予防する為、ウォーターサーバーを設置しました。

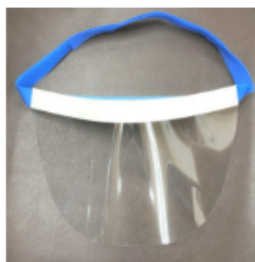
- ・園庭用に1台（ドーム入口）、園舎用に3台（各学年1台）設置しました。
- ・熱湯がでないように設定を変更しています。
- ・転倒防止対策としては、壁と本体を接着するバンドをつけました。
- ・ウォーターサーバーの水は、緊急時の備蓄になります。



<強化ポイント5> 園児用フェイスシールドを全園児に配布

飛沫感染対策を強化する為、園児用フェイスシールドを配布します。

- ・園での活動は「マスクのみ着用」とし、フェイスシールドは「昼食時の飛沫感染対策のみ」の利用とします。
- ・教諭も状況に応じて着用します。新型コロナウイルスが収束するまでの臨時的な対応とします。
- ・1日保育が始まりましたら、お持ちください。それまでは、自分で着脱できるようにお家で練習をお願いします。
- ・歯科医師用フェイスシールドを作成している会社に依頼しました。
- ・試作品を複数回作り、軽さや角度、呼吸のしやすさなどを調整しました。
- ・夏場にマスク着用が難しくなり、外した場合でも、感染予防になります。
- ・フェイスシールドを外しても、他の園児が装着しており、感染予防になります。
- ・繰り返し使えるタイプです。



＜強化ポイント6＞サポートメンバーを増やし、衛生管理を強化

当園の体操を監修している渡邊先生がサポートメンバーに加わります。

- ・水曜日と金曜日に衛生管理、保育補助、遊び補助、体操補助を担当します。
- ・園児と一緒に園庭で遊ぶ際は、安全管理とともに体の使い方を教えます。



<強化ポイント7> 新しいプラズマクラスター空気清浄機を10台設置

飛沫感染対策を強化する為、全クラスの空気清浄機を新しくしました。

- ・すべてのクラスに設置します。
- ・空気をきれいにしながら、ウイルスの作用を抑制します。



＜強化ポイント8＞非接触型ハンドソープを24台設置

接触感染防止の為、非接触型ハンドソープを増やしました。

- ・ポンプ式のハンドソープは廃止します。
- ・保育でも積極的に手洗いを促します。
- ・楽しく手洗いできるようにかわいい装飾をしています。

